

一般質問通告書(平成 28 年 9 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 10 番 高松 克年 1 町河川の改修整備計画を早急に立てるべき (町 長)</p>	<p>(1) 町河川の氾濫による農作物被害、土砂の侵入、農地の浸食、建物被害等が見られる状況にある。河川の改修が以前の状況に戻すだけの改修では、地元の住民には理解されるとは思わないが、考えを伺いたい。 (2) 町河川の改修整備については、計画は立てていないとのことだが今後災害がいつ起きるか知れない中、早急に立てるべきと考えるが伺いたい。</p>
<p>2 6 番 金子 益三 1 子育て支援の一環として学校給食費補助制度の導入について (教育長)</p>	<p>現在、我が町の学校給食運営については、富良野広域連合で上富良野学校給食センターにおいて、小学校 3 校・児童数 567 人、中学校 1 校・生徒数 307 人と教職員 84 名の合計 958 食を提供している。給食費は小学校児童 1 食あたり 260 円、中学校生徒 1 食あたり 306 円となっていて、圏域でも平均的な金額で、安価で栄養の高い、地産地消率も優れた学校給食である。給食センターそのものの運営に関しては富良野広域連合であることから、その内容については言及しないが、上富良野町の人口減少対策の一環として、学校給食費補助制度の導入を早急に図ることが望ましいと考える。子育て政策として取り組む考えがあるか伺う。</p>
<p>2 LP ガス式移動電源車両導入について (町 長)</p>	<p>今年は、記憶にも新しい 7 月から 8 月にかけて北海道へ次々と巨大な台風が上陸して猛威を振るい、更には九州熊本のみならず世界的にも発生する地震など、将に地球的規模での天変地異が発生している。そこで災害時においても調達が容易な LP ガスを発電燃料に、緊急災害時でもフレキシブルな活躍が期待出来る「LP ガスを発電燃料とした移動電源車」の導入が、災害時のみならず様々な機会でも有効なツールと考える。 最大発電能力についても 100kW 級のコンテナタイプ、50kW 級の発電ユニット搭載タイプ、9.8kWh 級の小型タイプがあり、いずれも LP ガスを発電燃料としていることから、緊急災害時における調達が容易な点が大きな特長である。現在、町の公共施設では非常用電源を設置して避難所機能としての電源確保はなされているが、活火山十勝岳の麓で大きな災害が発生した災害時・停電時における非常用電源などとして、自走が可能で機動的に活用することが出来る移動式電源車両を備えることが大切と考えるが、導入の考えを伺う。</p>

<p>3 11番 米沢 義英 1 災害対策について (町 長)</p>	<p>7月31日の集中豪雨に始まり、台風などの被害により町の河川や農地などに被害が出ている。特に、日新、清富、日の出、旭野、東中では収穫目前の芋、メロン、玉ねぎ、小豆などの流出、あるいは水につかるなどの被害が出ている。また、清富地域においては、大雨の被害による河川の氾濫により民家に水や土砂が流れ込むなどの被害が出ているが、今後の対応について伺いたい。</p> <p>(1) 農作物や農作業道路等にも被害が出ているが、具体的な救済対策が必要と考えるが対応は。</p> <p>(2) 日新、清富地区においては、大雨で河川の氾濫が起き、民家に水や土砂の流入及び道路がえぐられるなどの被害が度々起きているが、一時的対策でなく恒久的な対策が必要ではないか、今後の対応について伺いたい。</p> <p>(3) 道道美沢上富良野線は大事な幹線道路でもあり、地元の農業者も利用している道路でもあるが、復旧の時期について伺いたい。</p>
<p>2 後期高齢者医療について (町 長)</p>	<p>後期高齢者医療制度では、世帯の所得に応じて保険料が減免されるが、国の制度改革により平成29年度からは低所得の特例軽減が廃止される。軽減廃止による影響対象者は、現時点で1,034人と聞いている。その影響額は、国民年金9割軽減でみた場合、約1万円の負担増になる見通しであるが、改正後の影響はどのようになるのか。</p> <p>また、町は国に対して加入者に新たな負担をもたらす改正の中止を要請すべきと考えるが、町長の見解を求める。</p>
<p>3 予約型乗合タクシーについて (町 長)</p>	<p>予約型タクシーを利用する人が増えている。買い物などの用事で出かけるときは、あらかじめ時間の設定ができるが、帰りになると買い物、通院などでは、帰りの時間設定ができない場合もあり、その都度タクシーを呼べるように改善を望む声がある。限られた中での車の対応は大変だと考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>4 就学援助について (教育長)</p>	<p>就学援助は、経済的理由によって就学が困難とみられる児童生徒の保護者に対して支援する制度だが、近年、国においては、児童生徒の入学準備に必要な支援として、各自治体に、早めの就学援助を求めているが、町の対応について伺いたい。</p>

4 3番 佐川 典子

1 上富良野町の災害対策について (町長)

28年8月は、道内だけで6回の台風に襲われるという前代未聞の状況になった。そのうち台風10号では行方不明者も出ている。猛烈な豪雨被害はまさに甚大であり、特に被害を受けた近隣(南富良野町)の避難所に避難された方々の報道や被害状況を目の当たりにし、私達も改めて強く防災に対し関心を寄せているところである。

十勝岳爆発から90年目の年だからこそ改めて「災害対策基本法」に基づく災害に対する防災・減災の対策と方針の考えを深めることが求められる。

- (1) 上富良野町において地域防災計画があり、「上富良野町防災会議」においての意見や今後の課題があれば伺いたい。
- (2) 町民の生命、身体だけでなく財産も守らなければならないが、災害時における金融機関との協定はどのように考えているか。
- (3) 災害時における物資の面で確保が望まれるが、コンビニエンスストアとの協定をどのように考えているのか。
- (4) 町の普通河川について警戒水位の設定はされているのか、排水路の土砂除去計画はあるのか。繰り返し起こる災害現場への恒久的な対応について伺いたい。